

学校評価 1 学期の結果を生かす【対策】 職員

人吉市立大畑小学校

1 教職員の資質・能力

(1) 改善策（7月末立案）

「学校組織の一員として、協力し合って組織的に学校の課題に対応できたか。」の項目で「あまり当てはまらない」回答を「0」（①）にする。（チームで対応、組織の見直し）

(2) 結果

① 学校評価職員自己評価

番号	項目	調査日	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
4	学校組織の一員として、協力し合って組織的に学校の課題に対応できたか。	7月	1	8	2	0
		12月	3	6	0	0

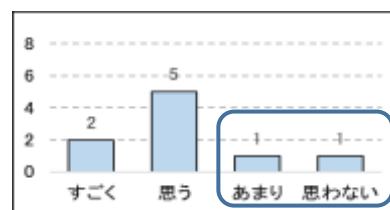
② 安心と信頼にあふれ高め合う学級づくりに向けた 熊本の教師の心がけ 10 か条

3 視点3 組織体としての教職員同士のつながり(「教師」と「教師」)

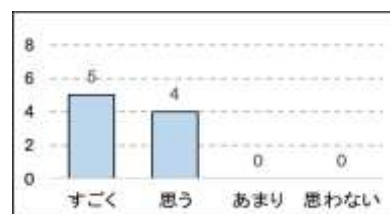
番号	項目	5月	6月	7月	9月	10月	11月
⑧	学校は組織体：話し合って決めた指導内容は、みんなで意識をそろえて実践していますか。子どもへの指導は、担任一人でなく全職員で一致した指導を行っていますか。	3.3	3.0	3.3	3.2	3.3	3.1
⑨	風通しのよい職場：授業の成功や失敗、学級づくりの悩み等を職員室で語り合っているか。（学営のヒントは、隣のクラスの実践から見付かる。）	3.4	3.1	3.0	3.2	3.3	3.3

③ 県学力調査教師質問紙結果

あなたは、昨年度の「熊本県学力・学習状況調査」や本年度の「全国学力・学習状況調査」の結果の分析で明らかになった課題に対して、校内研修等で協議された方策の共通理解のもと、取組にあたっていますか。



あなたは、自校の学校教育目標を踏まえた児童生徒に育てたい資質・能力を意識して、授業等日々の教育活動に取り組んでいますか。



(3) 今後の対策（共通実践事項の徹底）

① 4つの共通実践事項

② 愛の0123運動+1（ワン）

- 0 学校生活の中で、子どものよさきついて日常的に「褒め、認める」
- 1 欠席1日目（保護者への連絡） → 2 欠席2日目（家庭訪問）
- 3 組織的な対応 → +1（関係機関との連携）

③ 大畑っ子ABC運動 A(あたりまえのことが)、B(びっくりするほど)、C(ちゃんとできる)

学校評価 1 学期の結果を生かす【対策】 職員

人吉市立大畑小学校

2 自ら学ぶ力

(1) 改善策 (7 月末立案)

「学校組織の一員として、協力し合って組織的に学校の課題に対応できたか。」の項目で「あまり当てはまらない」回答を「0」(①)にする。(チームで対応、組織の見直し)

(2) 結果

① 学校評価職員自己評価 (各項目を学級化した目標に設定)

	項目	7 月	12 月
6	基礎的・基本的な知識及び技能の習得の手立てはとれたか。	2.7	3.3
7	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりはできたか。	2.9	2.8
8	個に応じた指導の充実は図れたか。	3.0	3.6
9	家庭学習の充実はできたか。	3.0	3.4
10	読書活動の推進に努めたか。	2.8	2.8

② 「熊本の学び」 授業実践の 7 つのチェックリスト

4 とてもあてはまる、3 あてはまる、2 あまりあてはまらない、1 あてはまらない

番号	チェックリスト	毎月の評価			
	子どもの姿(熊本の学び推進プラン)	5月	7月	9月	11月
1	(子供たちは)互いに失敗や間違いを認めたり、考えの違いを大切にしたりしている。	3.2	3.6	3.6	3.8
2	(子供たちは)単元終了時の姿を共有している。	2.9	3.1	3.1	3.3
3	(子供たちは)「わくわく」など、知的好奇心や興味・関心を高めて学習に取り組んでいる。	2.9	3.3	3.2	3.3
4	(子供たちは)「なぜ」「おそらく」など、疑問をもったり予想したりして学習に取り組んでいる。	3.0	3.1	3.0	3.0
5	(子供たちは)「やってみよう」「なるほど」「きっと」など、挑戦したり納得したりして学習に取り組んでいる。	2.9	3.2	3.3	3.3
6	(子供たちは)「分かった」「できた」「もっとやってみよう」など、実感や達成感を得たり更なる意欲を高めたりして学習に取り組んでいる。	3.0	3.1	3.0	3.1
7	(子供たちは)自分の習熟度に合った課題などに取り組んでいる。	2.7	3.0	3.0	2.9

(3) 今後の対策

- ① 授業づくりのための 4 つの共通実践事項の徹底
 - ② 校内研修を核とした授業改善の評価・分析
 - ③ S E O 週間など、職員が互いに学び合う体制づくりの設定と風土づくり。
 - ④ 個性に応じた学習課題の準備及び保護者と協働した家庭学習の推進と
- ※ 児童の意識と職員の意識の温度差調査 (質問紙等結果の活用)

学校評価 1 学期の結果を生かす【対策】 職員

人吉市立大畑小学校

3 関わり合う力

(1) 改善策（7月末立案）

命の尊重と人権教育の充実に努める。

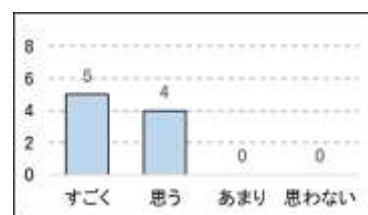
(2) 結果

① 学校評価職員自己評価（各項目を学級化した目標に設定）

	項目	7 月	12 月
11	命の尊重と人権教育の充実に努めたか。	3.3	3.6

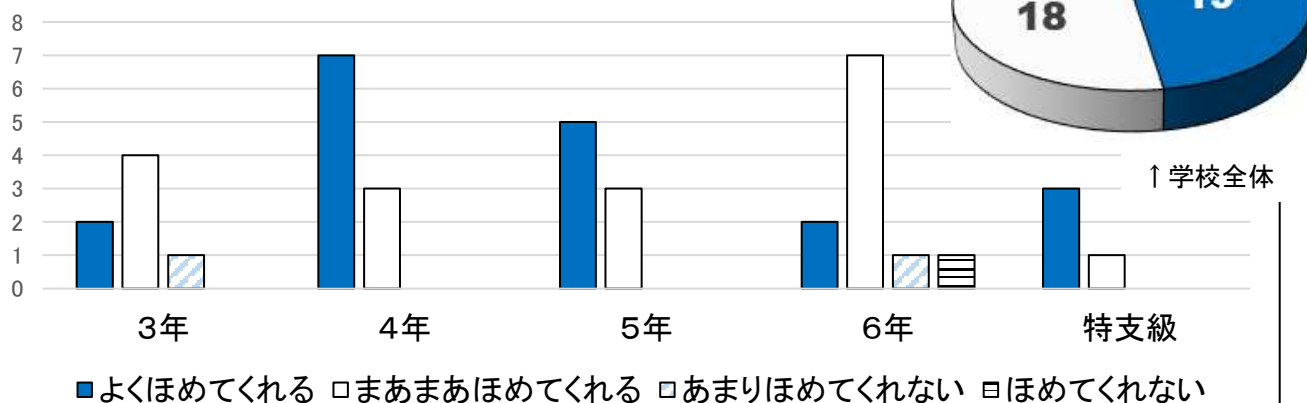
② 県学力調査教師質問紙結果

あなたは、授業等で関わる児童生徒に対して、学校生活の中で、児童生徒一人一人の良い点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組をどの程度行っていますか。

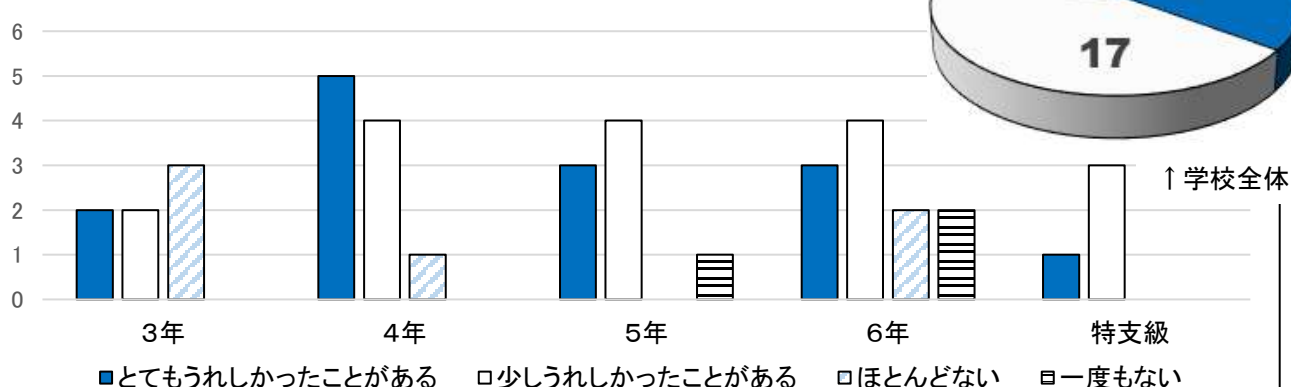


③ 県学力調査児童質問紙結果 ※「褒め、認め、励まし、伸ばす」教育を実践

先生はクラスみんなのことをほめてくれますか。
(ほめたり、励ましたり)←5・6年



先生からほめられて嬉しかったことはありますか。
(自分なりに頑張ったことを先生が認めてくれて)←5・6年



4 やりぬく力

(1) 改善策（7月末立案）

体力の向上、心のたくましさの育成に努める。

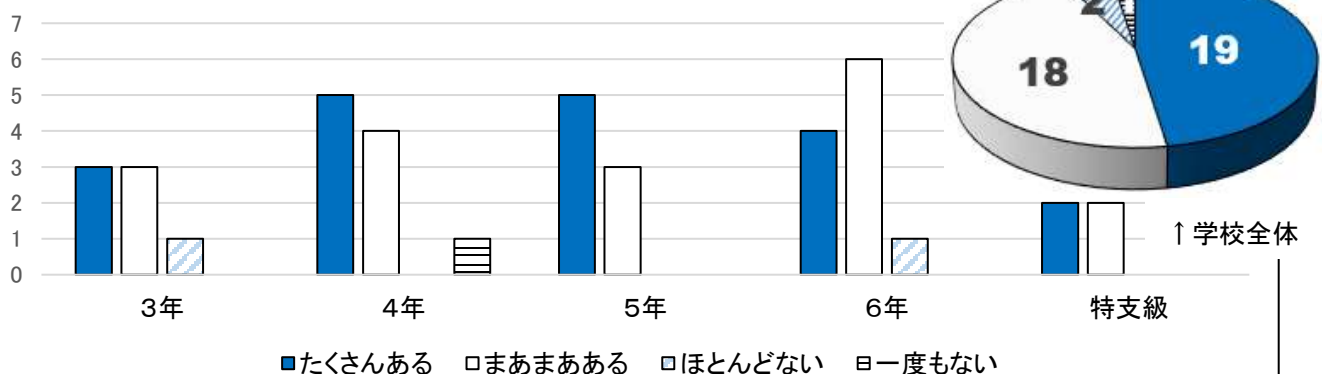
(2) 結果

① 学校評価職員自己評価（各項目を学級化した目標に設定）

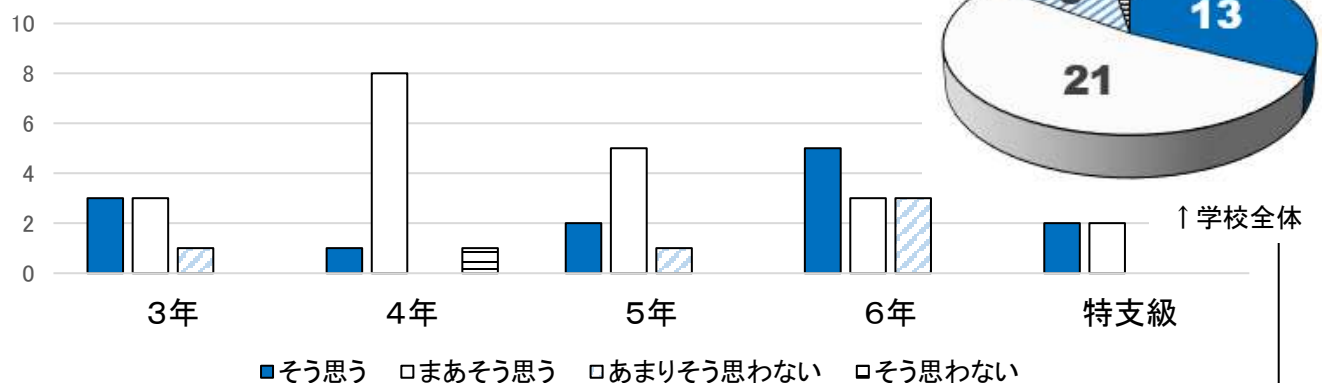
	項目	7月	12月
16	体力の向上に努めたか。	2.9	3.0
20	心のたくましさの育成に努めたか。	3.1	3.9

② 県学力調査児童質問紙結果

自分なりに努力したことがうまくいって、嬉しかったことがありますか。



あなたは物事を最後まであきらめないでやりぬく方ですか。



あなたはが頑張ったとき友達からがんばったね、すごいねとほめてもらったことがありますか。

